

～道内建設業担い手確保助成事業について～

北海道建設業信用保証㈱では、従来から取り組んでいる「道内建設業担い手確保助成事業」を2024年度～2028年度の5か年事業として、継続的に助成してまいります。

道内建設業担い手確保助成事業は、「担い手となる若い世代に直接助成が行き届く」という基本方針を継続しつつ、「建設業界の人材定着」にも焦点をあて、建設業団体や教育機関の要望を把握しながら2024年度～2028年度までの5年間で総額1億円を助成してまいります。

今年度からの新規事業としては、空知建設業協会の「若手育成研修会」、日建連北海道の「建設業現場見学会」を助成の対象としております。「若手育成研修会」では、若手職員を対象に次世代のリーダーとして必要な基礎的な指導スキルを学ぶ研修を開催します。「建設業現場見学会」では、室蘭工業大学の学生を対象とした現場見学会を実施します。

北海道建設業協会が実施した高校生アンケート調査では、将来の仕事に関する情報源として利用する媒体が、企業ウェブサイトや就職サイトよりもSNS、とりわけインスタグラムの利用が多く、建設現場の写真や動画を見たいというニーズが最も多いという結果となっております。当社では、同協会の助成対象事業である「現場見学会」と連動し、提供いただいた見学会の写真や動画をインスタグラム上で発信する取り組みも行っているところです。



↑ 北海道建設業協会「現場見学会」報告書



引き続き「北海道の建設業の持続発展への支援とその魅力の情報発信」を目標とし、本年度も北海道建設業協会をはじめ、各建設業団体の皆様や、昨年度発足した建設イノベーション・コンソーシアムと連携し、業界全体で幅広く情報を発信してまいります。併せて、コンストラクション甲子園等、各建設業団体において企画される新たな取組への積極的な支援を通じて、道内建設業における入職促進・人材育成に貢献して参ります。